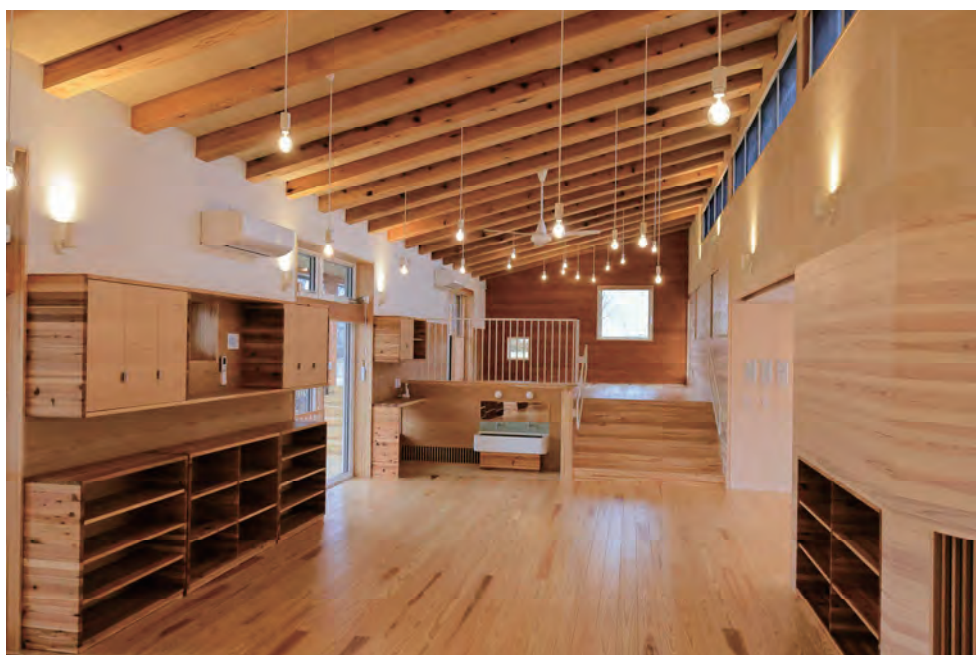


豊かな森づくりと魅力ある林業の構築をめざして

令和4年度版 「富山県森林・林業白書」



高校生を対象にした林業体験実習(桜井高校)

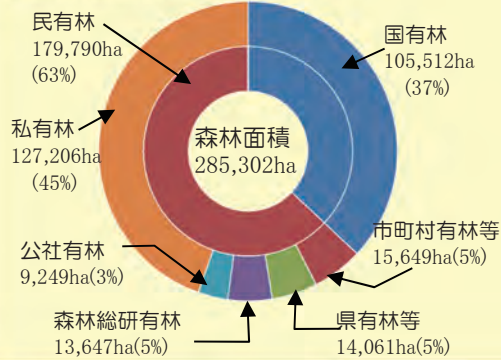


県産材を利用した保育園(黒部市三日市)

I 富山県の森林・林業の姿

経営形態別森林面積

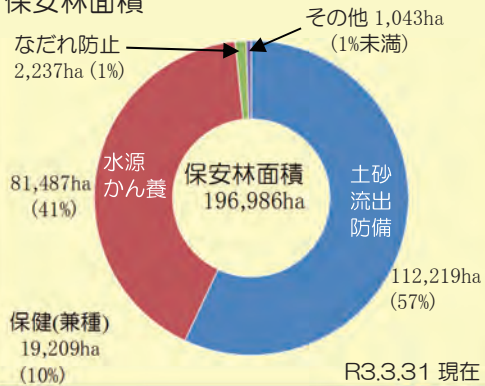
R3.3.31 現在



本県の森林面積は約 285 千 ha で、総土地面積 425 千 ha の 67% を占めています。森林率は全国とほぼ同じ水準です。

保安林面積

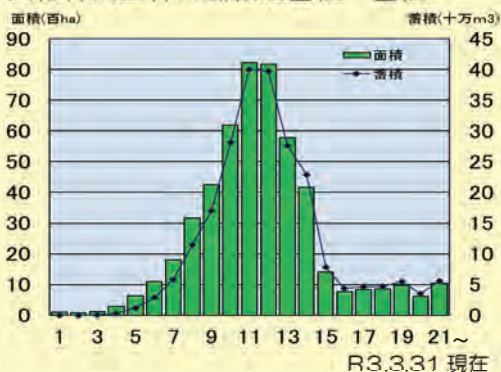
R3.3.31 現在



森林の公益的機能の維持・増進が重要な森林をその目的に応じ保安林に指定しています。保安林率は 69.0% で、全国の都道府県で最も高くなっています。

民有林人工林の齢級別面積・蓄積

R3.3.31 現在

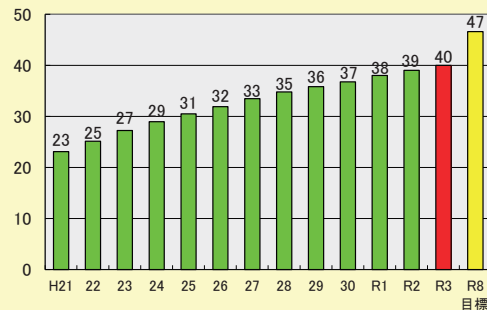


県内の人工林は、木材として利用可能な9齢級以上の森林が、面積全体の約9割、蓄積全体の約9割を占めています。



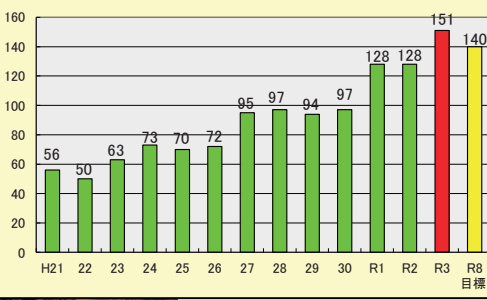


間伐実績累計の推移 (単位:千 ha)



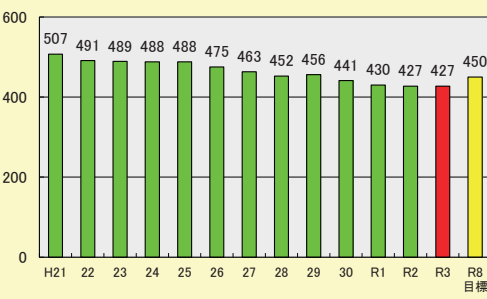
二酸化炭素の吸収源対策としても重要な役割を果たしている間伐を毎年約 1,100ha 実施しています。R3 年度には目標値の 86% となっており、引き続き整備を進めていく必要があります。

県産材生産量の推移 (単位:千 m³)



県内の人工林資源が充実してきたことや、林内路網の整備や高性能林業機械の導入等を積極的に進めた結果、近年、増加傾向にあります。R3 年は、いわゆる「ウッドショック」により県産材の需要が高まり、対前年比 118% の 15 万 1 千 m³ となりました。

林業就業者の推移 (単位:人)



林業就業者は減少傾向にありますが、平均年齢(森林組合)は 60 歳 (H5) から 51 歳 (R3) と若返っています。新規就業者の定着につなげるため、ICT 技術を活用したスマート林業の普及等を図っていく必要があります。

目次

- I 富山県の森林・林業の姿..... 1
- II 富山県森林・林業振興計画の概要..... 3
- III 目標の実現に向け、令和 3 年度に講じた主な取り組み..... 5
 - 森を活かす
 - 木を使う
 - 森を守る
- IV 富山県森林・林業振興計画の参考指標と令和 3 年度実績..... 18
- V 令和 3 年度の森林・林業に関する主な出来事..... 19

II 富山県森林・林業振興計画の概要

本県の森林・林業の現状と課題(第1章)

- 森林資源の循環利用の推進
本格的な利用期を迎えた人工林のフル活用
- 林業担い手の確保・定着
人手不足が進む中、林業担い手の確保と定着率の改善
- 県産材の利用促進
安定供給体制の整備と需要の拡大
- 県民参加の森づくりの一層の推進
全国植樹祭を契機とした県民参加の森づくりの機運の継承
- 集中豪雨などによる山地災害への対応
災害に強い森づくりや流木対策などの推進

【本計画の位置付け】

本計画は県の総合計画である「元気とや

森林・林業・木材産業の目指す方向

森づくりの基本指針

森づくりプランに活用した、100

目標

豊かな森づくりと魅力

目指す方向

【森づくり】
水と緑に恵まれた県土に強い森づくりが進んで

森づくりプランに基づき、里様な森づくりや森づくりを支えられるとともに、森林整備や治より、災害に強い森林が造成。

新・総合計画の政策

【活力14】

森林整備と林業の振興、
県産材の活用促進

- ・森林資源の循環利用と生産基盤の整備
- ・県産材の安定供給体制の整備と木材の需要拡大
- ・林業事業体の経営基盤の強化と担い手の育成・確保

【未来28】

水と緑の森づくり・花と緑の地域づくり

- ・水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進
- ・とやまの森を支える人づくりの推進
- ・県民緑化運動の推進と花と緑のあふれる地域づくり

【安心21】

防災・減災・災害に強い県土づくり

- ・治山・治水・土砂災害対策の推進
- ・津波・高波・海岸侵食対策の推進
- ・公共施設の計画的・効率的な維持管理の推進

施策の体系

森を活かす(伐って・植えて・育てる)

1 森林整備と森林資源の循環利用の推進

- (1) 事業地の大規模集約化の推進
- (2) 「生産林」の健全な育成と主伐、再造林の推進
- (3) 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の生産体制の整備
- (4) 森林経営の確立に向けた生産基盤の整備
- (5) 新たな森林管理システムの推進

2 林業担い手の確保・育成

- (1) 林業担い手センター等による担い手の確保
- (2) 富山県林業カレッジ等による担い手の育成

3 林業経営基盤の強化

- (1) 林業事業体の育成と経営基盤の強化
- (2) 農林水産公社営林の経営改善と適正な管理
- (3) 県営林の適正な管理
- (4) 特用林産物の振興

4 新たな技術開発と普及指導の推進

- (1) 林業の低コスト・省力化のための新たな技術開発の推進
- (2) 持続可能な林業経営に向けた林業普及指導の推進

木を使う(県産材等の木材の利用促進)

5 安定供給体制の整備

- (1) 林業生産性の向上
- (2) 品質・性能の確保と流通の円滑化

6 需要の拡大

- (1) 住宅や公共建築物等での利用促進
- (2) 新たな需要を創出するための研究開発
- (3) 設計者等の育成、確保
- (4) 理解の増進と木育の推進

森を守る(多様な森づくり・災害に強い森づくり)

7 県民参加の森づくりの推進

- (1) 里山林や混交林等の整備の推進
- (2) 森づくりを支える県民意識の醸成
- (3) 森林ボランティア等による森づくり活動への支援

8 災害に強い森づくりの推進

- (1) 保安林の適正な管理と林地の保全
- (2) 県民の生命・財産を守る治山事業の推進
- (3) 森林病虫獣害対策の推進

人を育てる

「ま創造計画」の森林・林業・木材産業分野に関する計画として、県の森林・林業行政の基本指針になります。

(第2章)

目標年次:令和8年度

基づき、「里山林」「保全林」「生産林」「混交林」に区分し、新たな森林管理システムなど年先につなぐ多様な森づくりある林業の構築

○計画のポイント「伐って、使って、植えて、育てる」
成熟期を迎えている森林資源の循環利用の推進

支える多様で災害
いること

山林の整備などの多
る人づくりが実施さ
山施設の設置などに

【林業・木材産業】

地域林業の担い手により、持続可能な森林経営が行われているとともに、県産材が安定的に供給され、需要拡大が図られていること

森林資源の循環利用と林業・木材産業の成長産業化に向け、森林経営管理制度やICT等を活用したスマート林業の導入などにより**主伐面積が3倍に増加**するとともに、需給情報の共有化や需要拡大により**県産材の利用量が4割増加**。

冬期林業の普及などにより伐採作業従事者の**通年雇用が促進**され、その所得が4割増加*。 *森林組合の伐採作業の従事者を対象に県で試算

目標の実現に向けた推進施策(第3章)

主な取り組み内容

- ・航空レーザ計測により詳細な森林資源情報を整備し、森林境界の画定や施業集約化に活用するほかデータ共有による需給のマッチングなど、**スマート林業**を推進
- ・森林資源の循環利用に向け、人工林の計画的な主伐と、伐採後の優良無花粉スギ「立山 森の輝き」による**再造林**を推進
- ・水源の涵養や地球温暖化の防止などを図るため、間伐等の森林整備を推進
- ・県産材を低コストで安定供給するため、路網整備や高性能林業機械の導入を支援
- ・森林経営管理制度に向け、「**森林経営管理総合支援センター**」を設置し、市町村による、森林経営管理を支援

- ・高校生等を対象とした**林業体験**の開催や、林業就業に関する情報発信サイト「**とやまの林業就業ナビ**」を開設し、県内外からの新規就業者を確保
- ・冬期林業の普及により事業体間での**労働力の融通を通じた通年雇用**を促進
- ・効率的な素材生産技術の習得など経験や役割に応じた人材を育成

- ・新たな森林管理システムの担い手となる意欲と能力のある林業経営者を育成
- ・県営林の適正な管理により計画的かつ効率的な県産材の供給を推進

- ・「**とやま県産材需給情報センター**」により、川上の供給情報と川下の需要情報の共有化を図るなど**需給マッチングの円滑化**を推進
- ・品質・性能の確かな県産材製品の供給を促進

- ・県産材を使った住宅の事例紹介や見学会などによる住宅での利用促進
- ・県産材利用のシンボルとなる公共建築物等の木造化や内装木質化を推進
- ・**県産材活用マニュアルの普及**により民間の建築物での県産材利用を促進
- ・**中大規模のCLT等を活用**した木造建築物を設計できる人材を育成

- ・地域住民との協働により地域や生活に密着した明るい里山林の整備を推進
- ・過密人工林や侵入竹林の整備により針葉樹と広葉樹が混在する混交林に誘導
- ・「**とやまの森づくりサポートセンター**」によりボランティア団体等の森づくり活動を支援

- ・**流木被害の未然防止**に向け、適切な森林整備と流木捕捉機能を備えた治山ダムの整備や溪流内での流木危険木を除去
- ・海岸林を中心とした、松くい虫被害などを適切に把握し効果的な防除を実施

主な参考指標(H28 ⇒ R8)

- ◎主伐面積[人工林](年間)
32ha ⇒ 100ha
- ◎無花粉スギ植栽面積(累計)
42ha ⇒ 500ha
- ◎間伐実施面積(累計)
34,784ha ⇒ 46,607ha
- ◎森林境界画定面積(累計)
4,929ha ⇒ 12,000ha
- ◎路網整備延長[人工林](累計)
1,818km ⇒ 2,498km
- ◎林業就業者(年間)
452人 ⇒ 450人
- ◎林業就業者*のうち、通年雇用者の割合(年間)
*森林組合の伐採作業の従事者
64% ⇒ 100%

- ◎県産材素材生産量(年間)
97千m³ ⇒ 140千m³
- ◎公共建築物等の木造率(年間)
14% ⇒ 25%以上
- ◎公共建築物等での県産材利用実績(累計)
243棟 ⇒ 830棟

- ◎里山林の整備面積(累計)
2,628ha ⇒ 4,600ha
- ◎県民参加による森づくりの年間参加延べ人数
12,439人 ⇒ 13,000人以上
- ◎流木被害防止対策着手数(累計)
一箇所 ⇒ 20箇所
(R3年度)

(森づくりや林業・木材産業を支える人づくり)

III 目標の実現に向け、令和3年度に講じた主な取り組み

森を活かす（伐って・植えて・育てる）

本格的な利用期を迎えている人工林での森林資源の循環利用（伐って、植えて、育てる）を推進するため、林業生産性の向上や担い手の確保、林業事業体の経営基盤の強化、新たな技術開発などに取り組みました。

※下記アイコンは、SDGs（持続可能な開発目標として、2015年国連サミットで採択された国際目標）のうち、本項目に関連するものを示しています。（以下、同様）



1 森林整備と森林資源の循環利用の推進

(1) 事業地の大規模集約化の推進

●森林境界の画定の推進

森林の整備や施業集約化に不可欠な森林境界の画定のための調査・測量に対し支援しました。

【実績】

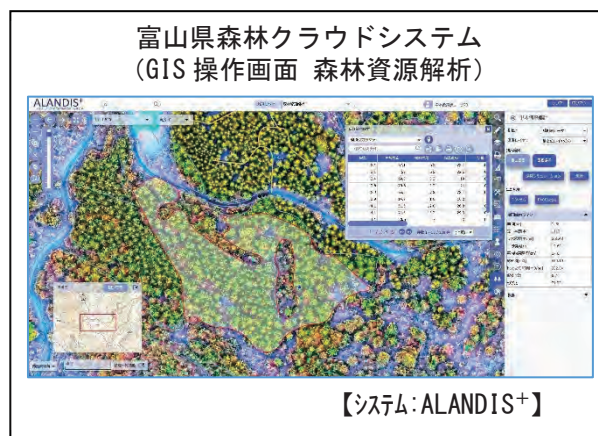
- ・森林境界画定実施面積 191ha

●ICT等を活用したスマート林業の推進

航空レーザの解析を行い、詳細な森林資源情報や木材の需要情報などを市町村や林業・木材産業関係者で効率的に共有する「森林クラウド」を構築しました。

【実績】

- ・航空レーザ解析面積 4,871ha
(累計) 179,770ha



●施業の集約化の推進

森林の持続的・効率的な経営を推進するため、森林を面的にまとめて具体的な経営方針を示す森林経営計画の策定を推進しました。

【実績】

- ・森林経営計画策定面積（累計） 40,332ha

(2) 「生産林」の健全な育成と主伐、再造林の推進

●森林経営計画に基づく計画的な森林整備の推進

計画作成者を対象に、間伐等の森林施業や森林作業道の開設にかかる費用等を支援しました。

【実績】

- ・間伐（造林事業関係）
 - 造林事業 383ha
 - 間伐材生産推進事業 64ha
 - 県単独森林整備事業等 11ha
- ・森林作業道 99.2km



●計画的な主伐と無花粉スギによる再造林の推進

小規模、分散している主伐可能森林をとりまとめ、効率的な出材を促進するとともに、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」による再造林を支援しました。

【実績】

- ・主伐可能森林の集約化 31ha
- ・「立山 森の輝き」の植栽 30ha

(3) 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の生産体制の整備

●「立山 森の輝き」の増産体制の確立と民間生産者の育成

生育期間が短く低コストで大量生産が可能となる、挿し木による苗木生産に向け、県砺波採穂園の整備を進めるとともに、コンテナ苗生産に取り組む民間生産者を対象に、巡回指導や技術研修会を開催するなど、技術力の向上と新たな生産者の育成に取り組みました。

【実績】

- ・採穂林造成 0.1 ha
- ・採穂林植栽 5,000 本
- ・コンテナ苗生産に取り組む民間生産者 5 者
- ・民間生産者への巡回指導 2 回、技術研修会 1 回

採穂林の植栽
(県砺波採穂園)



(4) 森林経営の確立に向けた生産基盤の整備

●林業の生産性向上を図る路網整備の推進

林業生産コストを低減するため、地域林業の骨格となる林道に加え、大型トラックが通行できる簡易な構造の林業専用道を整備するとともに、効率的に集材を行うために、より高密度な森林作業道を整備しました。

【実績】

- ・林道 () 内は未完成延長
 - 山のみち 0.9 (2.0)km
 - 森林基幹道 0.7 (2.7)km
 - 森林管理道 0.1 (0.1)km
- ・林業専用道(規格相当) 2.3km
- ・森林作業道 99.2km [再掲]

木材の運搬に利用される林道
(福平池尻線 黒部市)



(5) 森林経営管理制度(新たな森林管理システム)の推進

●森林経営管理制度の推進

令和元年4月に設置した「富山県森林経営管理総合支援センター」において、市町村に対する森林経営管理に関する必要な助言や指導、情報提供などを実施しました。

【実績】

- ・市町村職員対象研修会 4回、92人参加
 - ・意向調査等の実施 14市町
 - ・経営管理権集積計画の公告 6件
- #### ●意欲と能力のある林業経営者の育成
- 生産性の向上や再生林の確保、雇用管理の改善などに関する一定の基準を満たす林業経営体を公表しました。

【実績】

- ・意欲と能力のある林業経営者 12者

県森林経営管理総合支援センターによる
研修会の開催(森林クラウド研修)



《令和4年度に新たに講じる施策》

- ・県、市町村、林業関係団体等からなる「林業イノベーション推進協議会」を令和4年4月から始動し、安全な林業労働環境の確保と、森林整備の効率化や省力化につながるスマート林業技術の実証実験を行い、有効性や課題の解決方法をデータ等で示し普及していくことにしています。

トピックス 林道有峰線「小見区間」2車線化工事完成

富山市(旧大山町)の林道有峰線「小見区間」の2車線化工事が令和3年10月6日に完成し、知事はじめ国会議員や地元関係者等による安全祈願を兼ねた完成記念式典が令和3年10月17日に行われました。

2車線化工事は、昭和50年度〔うち県施工平成20年度～〕に着手し、46年を要した拡幅改良工事で、全体延長が12.8km〔うち県施工2.3km〕、総工事費は約161億円〔うち県施工約35億円〕。2車線化にともない「小見区間」は延長が1.2km短くなったほか、片側交互通行の解消によりアクセス時間が短縮され、また大型バスの通行も可能となりました。



林道有峰線「小見区間」



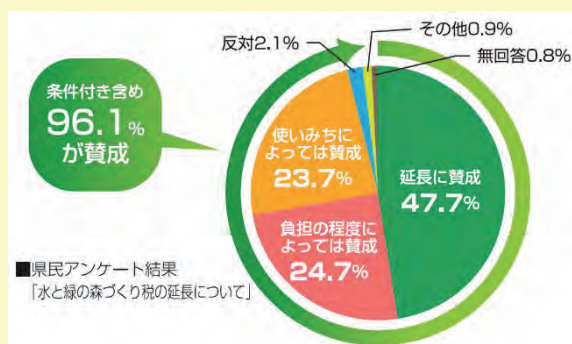
完成記念式典(令和3年10月17日)

トピックス

「水と緑の森づくり税」の延長と「富山県森づくりプラン」の改訂

「水と緑の森づくり税」は、平成19年4月の導入から16年目を迎えました。令和2年12月の県民アンケート調査では、条件付きを含め96%以上の方々に「水と緑の森づくり税」の延長に賛成をいただいたことから、「水と緑の森づくり税」の課税期間を令和8年度まで5年間延長することとしました。

また、とやまの森をめぐる状況が変化していることを踏まえ、「富山県森づくりプラン」(平成29～令和8年度)を令和3年10月に改訂しました。



(改訂版) 富山県森づくりプランの新たな取組

1 多様な森づくりの推進

- クマ等の野生動物の移動経路となる河岸段丘等での里山林整備
- 里山林の維持管理・利用を行う地域のニーズに応じたきめ細かな支援

2 とやまの森を支える人づくりの推進

- オンライン森づくり塾の開催
- 一般県民向け「森の寺子屋」公開講座の開催
- 森林内での健康プログラムやスポーツなど、森林空間を利活用する活動を支援
- SNSを活用した広報や事業地のオープンデータ化、カーボンニュートラルに寄与する森づくりを発信

3 森林資源の循環利用の推進

- 公共施設等の木造化や内装木質化等の支援対象に民間の非住宅施設を追加
- 木育体験イベントの開催

2 林業担い手の確保・育成

【人を育てる】



(1) 林業担い手センター等による担い手の確保

●林業就業者の確保

林業就業に関する一元的な情報発信サイト「とやまの林業就業ナビ」の運営、ハローワークと共同で就業相談会の開催や、首都圏等大都市で開催される林業就業者相談会に参加するなど、新たな担い手の確保に取り組みました。

【実績】

- ・アクセスユーザー数 7,900 ユーザー
- ・就業相談会（県内） 10回 26人参加
- ・就業相談会（県外） 2回 19人参加
- ・新規就業者39名

とやまの林業就業ナビ(富山元気林業チャンネル)



<https://taff.or.jp/ringyou-navi/>

高校生や大学生、就業希望者を対象に、林業体験を実施しました。

【実績】

- ・林業体験 9回（高等学校7回、大学1回、一般1回）、延べ154人参加

●林業就業者の定着

冬期林業の普及により、林業事業体間での労働力の融通を通じて通年雇用を促進しました。

【実績】

- ・林業就業者*の通年雇用者の割合（年間） 69% *森林組合の伐採作業の従事者

林業・木材製造業労働災害防止協会と連携し、安全巡回指導等を実施しました。

【実績】

- ・安全巡回指導 9回
- ・労働災害救助訓練 1回 30人参加

(2) 富山県林業カレッジ等による担い手の育成

●経営・計画に関わる技術者の育成

将来の森林管理ビジョンを描き実現できる人材や、効率的な集約化施業を実現できる人材を育成しました。令和3年度からは新たに、スマート林業に対応できる人材の育成研修に取り組みました。

【実績】

- ・森づくりプロデューサー養成研修 24日間 26人参加
（うちスマート林業コース6日間 10人参加）
- ・森林施業プランナー育成研修 5日間 3人参加

富山県林業カレッジの研修 (森づくりプロデューサー養成研修 【うちスマート林業コース】)



●効率的な素材生産等を担う技術者の育成

高い生産性と安全性を確保しつつ、素材生産や森林作業道整備などを行うことのできる現場技術者を育成しました。

【実績】

- ・フォレストワーカー（林業作業士）研修 1年次～3年次 72日間 28人参加
- ・フォレストリーダー（現場管理責任者）研修 15日間 16人参加
- ・このほか、伐木技能高度化研修、路網作設高度技能者育成研修などを開催

3 林業経営基盤の強化



(1) 林業事業者の育成と経営基盤の強化

●森林組合の経営基盤の強化

事業執行体制の強化を図るための指導、検査等を実施しました。

【実績】

- ・常例検査 2組合

(2) 農林水産公社営林の経営改善と適正な管理

●将来収支の改善と森林の適正な維持管理

土地所有者の理解のもと、分収比率の見直し（公社8：土地所有者2）や契約期間の延長（80年）を進めるとともに、森林の有する公益的機能の維持・向上を図るため、間伐等の森林整備や抜き伐りによる広葉樹の導入を促進する「非皆伐長伐期施業」に取り組みました。

【実績】

- ・契約変更 3件（延べ939件 進捗率94.9%）
- ・非皆伐長伐期施業（抜き伐り） 79ha

●伐採収入増大と安定的な県産材の供給

低コスト生産に必要な森林作業道などの路網整備を進めるとともに、利用間伐や抜き伐りによる県産材の供給に取り組みました。

【実績】

- ・森林作業道開設 14.7 km
- ・間伐材生産量 4,414m³

公社営林の状況（魚津市鹿熊）



(3) 県営林の適正な管理

●適正な管理と計画的な契約更新

公益的機能を十分発揮できる森林を造成するため、間伐等の保育施業を計画的に実施するとともに、契約更新に係る変更契約の締結に向けた取り組みを進めました。

【実績】

- ・間伐 5ha

●計画的な県産材の供給

森林作業道の整備等による効率的な搬出間伐や立木売払を推進しました。

【実績】

- ・間伐材生産量 45m³
- ・主伐売払4件（23.9ha 10,646m³（立木材積））

県営林の主伐実施状況
（富山市八尾町大道）



黒マイタケ（左）と従来品種（右）



(4) 特用林産物の振興

●富山産の新たなきのこの栽培化に向けた技術開発

市販品種に比べ、美味しさや香り、見た目などに優れた野生型マイタケ（通称黒マイタケ）の栽培技術を確立しました。

4 新たな技術開発と普及指導の推進

(1) 林業の低コスト・省力化のための新たな技術開発の推進



●森林資源の循環利用を推進する技術の開発

県内のスギ人工林における初期保育経費（下刈り、雪起こし、つる伐り、除伐）に要する経費を予測するための手法およびプログラムソフトを開発しました。

高齢コナラ林における実生を用いた更新技術を開発するとともに、こうした施業を現場で適切に実施するための作業手順を示した普及書を作成しました。

とやまの森と技術



R4.5 発行

●県民生活の安全・安心に貢献する森づくりの推進

県内のブナ林、ミズナラ林等において着果状況の調査を行い、作柄を明らかにし、クマ出没予測に活用しました。

県内のスギ林における花粉の着果状況調査などから、1シーズンあたりのスギ花粉飛散量や飛散開始日、1日の花粉飛散数の予測を行い、広く県民に情報提供しました。

●研究成果の県民への提供

林業関係者はもとより、広く県民に対し、わかりやすく研究情報を発信するとともに、パンフレット等を通じた技術の普及を図りました。

【実績】

- ・森林研究所研究成果発表会 R4.1.21 開催 100人参加
- ・とやま森林研究所だより 600部発行
- ・研究レポート No.23 600部発行
- ・研究報告 No.14 300部発行
- ・業務報告 200部発行

とやま森林研究所だより



R3.7 発行

(2) 持続可能な林業経営に向けた林業普及指導の推進

●面的なまとまりのある持続可能な森林経営の推進

効率的に森林整備を進めていくため、林業事業体に対し、森林経営計画の作成等による集約化施業を指導するとともに、森林・林業に関する専門的かつ高度な知識や技術等を有する森林総合監理士（フォレスター）が活動しました。

【実績】

- ・森林経営計画策定面積（累計） 40,332ha [再掲]
- ・フォレスター登録（累計） 26名

●森林・林業に関する技術・知識の普及・指導

効率的な主伐を実施するための知識・技術等を普及しました。

【実績】

- ・林業普及指導職員活動成果発表会
R4.2.17 開催 127人参加
- ・地区座談会 17回開催

林業普及指導職員活動成果発表会 [R4.2.17]



木を使う（県産材等の木材の利用促進）

木材の利用を促進するため、県産材の安定供給体制の整備や需要の拡大を進めました。

5 安定供給体制の整備

(1) 林業生産性の向上



●生産性の向上を図る路網整備等の推進

路網整備や高性能林業機械の導入を支援しました。

【実績】

- ・林業専用道（規格相当） 2.3km [再掲]
- ・森林作業道 99.2km [再掲]
- ・高性能林業機械の導入 4台
 - ハーベスタ 1台
 - グラップルソー 2台
 - フェラーバンチャ 1台

高性能林業機械（ハーベスタ）
（富山市文珠寺）



(2) 品質・性能の確保と流通の円滑化

●需要に応じた品質・性能の確かな県産材の供給体制の整備

木材加工施設への木材乾燥機等の導入を支援しました。

【実績】

- ・木材加工流通施設整備 4箇所
（うち木材乾燥機の導入 2箇所）

●川上から川下までの関係者の連携強化

「とやま県産材需給情報センター」により、県産材の供給情報と建設予定物件の県産材使用量などの需要情報の共有化を図るなど、需給マッチングの円滑化を推進しました。

木材加工施設に導入した木材乾燥機
（南砺市専勝寺）



トピックス 「県産材の利用促進に関する基本計画」の改定

県では「富山県県産材利用促進条例」に基づき、県産材の利用促進に関する基本的事項を定めた「県産材の利用促進に関する基本計画」を平成29年に策定しましたが、これまでの取組成果や令和3年10月に改正木材利用促進法が施行されたことなどを踏まえ、令和4年3月に基本計画を改定しました。

【改正のポイント】

◎施策の基本的方向

- ①木材利用の拡大による「2050年カーボンニュートラル」の実現への貢献を明記
- ②改正木材利用促進法に基づき、木材利用促進の対象を公共建築物から民間建築物を含めた建築物一般に拡大

◎主な具体的な施策

I 需要の拡大

- ①普及効果の高いモデル的な民間建築物での県産材利用を支援
- ②民間事業者による県産材利用が進展するよう、「建築物木材利用促進協定」制度を普及

II 安定供給体制の整備

- ①ICTなど先進的な技術の実証及び普及
- ②スマート林業技術を活用・実践する人材の育成

◎県産材利用目標量

令和8年：14万5千㎡（令和2年から13%増）



魚津市立星の杜小学校
（階段教室）

6 需要の拡大

(1) 住宅や公共建築物等での利用促進



●住宅分野における利用促進

県産材を使った住宅建設に対する支援等を実施しました。

【実績】

- ・とやまの木で家づくり支援事業 47 棟
- ・とやまの木で家づくり応援工務店 19 社
(R4.3 末現在)
- ・県産材アドバイザー 62 名 (R4.3 末現在)



支援事業を活用した県産材住宅
(射水市内)

●土木工事・工作物等での利用促進

「富山県木造公共建築物等推進会議」を開催(R3.11.15)し、県産材を使った製品や活用事例等の情報を提供するとともに、備品の導入に対する支援事業を行いました。

【実績】

- ・県産材備品導入 6 施設



公共施設への備品導入
(栽培漁業センター)

(2) 新たな需要を創出するための研究開発

●地域の木材産業と連携した安全・安心な木造建築技術の開発

木材研究所では、県産スギ大径材の構造利用技術の開発を進め、成果の一部を普及書にまとめ関係者に配布しました。また、研究成果を発表するとともに、企業等からの共同研究や依頼試験に積極的に応じました。

【実績】

- ・木材研究所研究成果発表会 R3.11.19 開催 60 人参加
- ・研究報告 2022.No9 200 部発行
- ・企業等との共同研究 9 社 (9 件)
- ・依頼試験 28 社 (59 件)



R4.1 発行

(3) 設計者等の育成・確保

【人を育てる】

●木造建築物を設計できる人材の育成

民間の建築技術者等に対し、県産材の活用について理解を深めてもらうことを目的に、講習会等を開催しました。

【実績】

- ・木造公共建築講座 3回 113 人参加
- ・林産技術講習会 2回 157 人参加
- ・県産材品質管理技術講習会 2回 47 人参加



林産技術講習会
[R3. 8. 4]

●若い世代に木造建築の魅力を伝える機会の創出

県内の建築を学ぶ学生等を対象に、木造住宅の設計コンペを開催し、木造住宅を設計する機会を創出しました。

【実績】

- ・とやま県産材住宅設計コンペ
応募数8点（4校）

(4) 理解の増進と木育の推進

【人を育てる】

●県民への木材利用の普及啓発

10月の「とやまの木づかい推進月間」を中心に、関係者が連携・協力し、県産材の利用促進に向けたイベントなどの広報活動を実施しました。

【実績】

- ・「2021年とやまチビッコとんかち大将コンクール」 応募総数 190点
- ・「とやま木と住まいフェア2021」 約250人参加
公開実演（スギ材の曲げ強度試験ほか）
木工教室の開催（椅子づくりほか）等
- ・「ウッディとやま」開催（総曲輪グランドプラザ）
県産材こどもの城づくり事業の引渡式の開催等

児童館など多くの子供が集まる施設への県産材遊具の導入を支援しました。

【実績】

- ・県産材こどもの城づくり事業
屋外遊具の製作・設置 4施設
- ・県産材遊具の貸出 5回

県産材を利用した建築物を対象にコンクールを開催し、県産材を利用する設計者・施工者の意欲向上に繋がる機会を創出しました。

【実績】

- ・とやま県産材建築物コンクール
応募数14点（住宅部門10点・非住宅部門4点）

とやま木と住まいフェア2021
〔R3.10.23〕（県木材研究所）



屋外遊具の設置
（富山市青い鳥幼稚園）



非住宅部門最優秀賞〔富山県知事賞〕
「富山県立大学学生会館」（射水市）



《令和4年度に新たに講じる施策》

- ・民間建築物での木材利用が進むよう、普及効果の高い民間建築物における県産材利用を支援します。

森を守る（多様な森づくり・災害に強い森づくり）

とやまの豊かな森を守り育て次世代に引き継ぐため、県民参加の森づくりの推進や災害に強い森づくりを進めました。

7 県民参加の森づくりの推進

(1)-1 里山林の整備



●県民協働による里山林の整備

野生動物との棲み分けなどを目指し、地域住民との協働により、地域や生活に密着した明るい里山の再生に取り組みました。

【実績】

- ・里山林整備 12市町 57地区 668ha
地域住民等の参加人数 819人
- ・4年目以降の地区への支援
12市町 75地区 828ha
地域住民等の参加人数 1,778人

広葉樹林の若返りを図るとともに、キノコ菌床やパルプ材等として活用するため、更新伐を実施しました。

【実績】

- ・広葉樹更新伐 100ha

地域住民による森づくり活動
(南砺市北市)



《令和4年度に新たに講じる施策》

- ・クマ等の野生動物の移動経路となる河岸段丘等での里山林整備や、過疎化等による人手不足への対応など、里山林の維持管理・利用を行う地域のニーズに応じたきめ細かな支援を行います。

●地域住民による継続的な里山林の維持管理活動

里山リーダーセミナー等により里山の利活用を促進するとともに、過疎化、高齢化などにより地域住民だけでは困難となった里山林の維持管理を支援する「森づくりサポーター」と地域住民との協働活動「里山応援隊活動」を実施しました。

【実績】

- ・里山リーダーセミナーの開催 16回 85人参加
- ・里山応援隊活動 4地区 69人参加

(1)-2 混交林の整備

●過密人工林や侵入竹林の整備

過密となった人工林や竹が侵入した人工林を、スギと広葉樹が混在する混交林に誘導するための整備を実施しました。

【実績】

- ・過密人工林整理 6市町 8地区 38ha
- ・侵入竹林整理 12市町 12地区 26ha

過密人工林の整理（朝日町蛭谷）



(1)-3 保全林の整備

●カシノナガキクイムシ被害跡地の植栽木の育成

カシノナガキクイムシの被害跡地を早急に森林へ復旧するために植栽した、ミズナラ等の実のなる木の保育を実施しました。

【実績】

- ・下刈り 4市町 6地区 2ha

(2) 森づくりを支える県民意識の醸成

【人を育てる】

●森づくりを支える県民意識の醸成

「とやま森の祭典 2021」を開催し、森林の持つ多様な役割や健全な森づくりのための県産材利用の重要性等について広く紹介し、県民の皆さんに理解を深めていただきました。

【実績】

- ・R3.5.16 開催 魚津桃山運動公園 約 500 人参加

●森林環境教育の推進

森づくりへの理解を深めてもらうため、児童、生徒や一般県民を対象にフォレストリーダーによる「森の寺子屋」を開催しました。また、森の寺子屋の指導者となるフォレストリーダーのスキルアップ研修を実施しました。

【実績】

- ・「森の寺子屋」の開催 68回 2,722人参加
- ・スキルアップ研修 3回 96人参加

有峰の自然に対する愛着心を育む活動や高校生の森林体験等を実施する「有峰森林文化村」の活動を推進しました。

【実績】

- ・文化村活動 28回 425人参加
- ・森林文化公園施設利用者 21,781人

森の寺子屋の開催
(砺波市立庄東小学校 巣箱作り)



●県民全体で支えるとやまの森づくりの推進

「富山県水と緑の森づくり会議」を開催(R3.5.12)し、森づくりについて幅広く意見を伺うとともに、「富山県森林審議会森づくり部会」を開催(R3.10.14)し、水と緑の森づくり事業の評価を行いました。

(3) 森林ボランティア等による森づくり活動への支援

【人を育てる】

●「とやまの森づくりサポートセンター」による森づくり活動の支援

森づくり活動を行うボランティア団体や企業にサポートセンターに登録してもらい、活動に必要な機器の貸出や保険料の支援、「森づくり塾」による森林・林業の知識、技術に関する研修を実施しました。

【実績】

- ・サポートセンター登録者数 (R4.3 末現在) 144 団体 (5,764 人) 56 企業
- ・県民参加による森づくりの年間参加延べ人数 10,142 人
- ・機器の貸出 556 回 6,359 個
- ・保険料支援 28 団体
- ・森づくり塾の開催 30 回 231 人参加

森林ボランティア活動を体験する機会を設けるほか、登録団体・企業の交流を支援しました。

【実績】

- ・「とやまの森づくりボランティア交流会」
R3.5.16 開催 魚津桃山運動公園 100 人参加

森づくりボランティア交流会
(魚津桃山運動公園) [R3.5.16]



●県民意見を反映した「サポートセンター」の運営

「とやまの森づくりサポートセンター運営委員会」を開催(R3.8.2)し、森づくり活動について幅広く意見を伺いました。

8 災害に強い森づくりの推進



(1) 保安林の適正な管理と林地の保全

●計画的な保安林指定と適切な管理

公益的機能の発揮が必要な森林を保安林に指定するとともに、保安林標識の設置や保安林調査員によるパトロールを定期的に行いました。

【実績】

- ・保安林種ごとの指定面積

水源かん養保安林	18.9ha
土砂流出防備保安林	8.8ha
土砂崩壊防備保安林	1.0ha
潮害防備保安林	1.5ha
計	30.2ha
- ・保安林標識の設置 39基
- ・保安林調査員によるパトロール 8名 59回

豊かな水を育む保安林
(富山市有峰)



(2) 県民の生命・財産を守る治山事業の推進

●災害に強い森づくり・水源の森づくりの推進

災害等により機能が低下している森林について、森林の整備を治山施設の設置と併せて実施するとともに、山地災害危険地区の整備や、ダム上流等の重要な水源地域における荒廃地の復旧と併せて、水源涵養機能の高い森林に向け整備しました。

【実績】

- ・復旧治山事業 6市町 16箇所
- ・予防治山事業 4市町 7箇所
- ・緊急予防治山事業 2市 4箇所
- ・山地災害重点地域総合対策事業 3市 10箇所
- ・水源地域整備事業 1市 1箇所
- ・森林整備 26ha

また、下流への流木の流出防止のため、流木捕捉機能を備えた治山ダムの整備や、溪流内の流木危険木の除去を行いました。

【実績】

- ・流木被害の発生の恐れのある危険木の除去
1市 3箇所

●雪害防止対策の推進

なだれ防止機能を有する森林の維持・造成を行いました。

【実績】

- ・なだれ防止林造成事業 1市 2箇所

●治山施設の老朽化対策

「富山県治山施設長寿命化計画（令和元年度策定）」に基づき、老朽化した治山施設の修繕を計画的に実施しました。

【実績】

- ・治山施設の修繕 7市町 13箇所

崩壊地の荒廃地復旧
(南砺市太谷川)



流木捕捉機能を備えた治山ダム
(高岡市加茂)



●海岸保全対策の推進

飛砂、潮風、強風等の被害から人家、農地等を保全するため、海岸防災林の造成と防災林の機能維持のため、下刈・間伐等の保育作業や植栽を実施しました。

【実績】

- ・県単独治山事業 1町 1箇所



(3) 森林病虫獣害対策の推進

●森林病虫獣害に対する適切な被害把握と防除の実施

海岸林などを松くい虫被害から守るため、薬剤散布や樹幹注入による予防対策と、被害木の伐倒駆除による被害拡大防止対策を実施しました。

【実績】

- ・薬剤散布 6市町 71ha
- ・伐倒駆除 7市町 765m³
- ・樹幹注入（立木本数）4市町 95本

ニホンジカについては、県内 40 箇所のスギ植栽地において、植栽木の採食及び剥皮の被害実態を調査し、県東部及び中部において高い頻度で剥皮被害が発生していることを明らかにしました。

トピックス 氷見市岩瀬地区における地すべり災害

令和3年8月13日、記録的な大雨により、氷見市岩瀬地内において幅約 250m、延長約 350m の規模で地すべりが発生し、農地や農業用施設が被害を受けました。

さらに、この農地の下部には2級河川 上庄川の支流があり、地すべり土塊が移動することにより、この河川を閉塞し、下流にある人家等に被害を及ぼす恐れがあることから、国の災害関連緊急地すべり防止事業の申請を行いました。

同年9月27日に事業採択を受け、復旧工事を進めています。



農地の被災状況（地すべりブロック冠頭部）

IV 富山県森林・林業振興計画の参考指標と令和3年度実績

区分	番号	指標名	単位	基準年	実績	目標	
				H28	R3	中間目標 (R3)	目標 (R8)
森を活かす	1	森林境界画定実施面積（累計）	ha	4,929	6,904	8,900	12,000
	2	主伐面積〔人工林〕（年間）	ha	32	73	80	100
	3	優良無花粉スギ植栽面積（累計）	ha	42	159	200	500
	4	間伐実施面積（累計）	ha	34,784	40,208	40,607	46,607
	5	森林経営計画策定面積（累計）	ha	36,966	40,332	40,200	43,300
	6	路網整備延長〔人工林内〕（累計）	km	1,818	2,301	2,158	2,498
	7	林業就業者数（年間）	人	452	427	450	450
	8	林業就業者*のうち、通年雇用の割合（年間）*森林組合の伐採作業の従事者	%	64	69	80	100
	9	認定森林施業プランナー数（累計）	人	30	33	36	42
	10	認定事業体数（累計）	者	14	17	16	19
	11	非皆伐長伐期施業面積〔公社〕（累計）	ha	—	229	150	830
	12	県営林素材生産量（年間）	m ³	9,010	6,126	9,090	10,710
木を使う	13	木材の生産性（年間）	m ³ /人日	4.0	5.7 [R2]	4.2	4.4
	14	県産材素材生産量（年間）	千m ³	97	151	130	140 ※(145)
	15	公共建築物等の木造率（年間）	%	14	21	25	25以上
	16	公共建築物等での県産材利用実績（累計）	棟	243	409	530	830
	17	県産材大型遊具の導入施設数（累計）	施設	23	44	43	63
森を守る	18	里山林の整備面積（累計）	ha	2,628	3,773	3,600	4,600 ※(4,800)
	19	混交林の整備面積（累計）	ha	1,290	1,597	1,550	1,800
	20	森の寺子屋の開催回数（年間）	回	122	68	130	130
	21	県民参加による森づくりの年間参加延べ人数	人	12,439	10,142	13,000	13,000以上
	22	保安林の指定面積（累計）	ha	92,462	92,651	93,200	93,800
	23	山地災害危険地区着手数（累計）	箇所	1,403	1,445	1,428	1,453
	24	流木被害防止対策着手数（累計）	箇所	—	20	20	

※下段()は、富山県森づくりプラン(3改訂)及び県産材の利用促進に関する基本計画(3改定)の目標値を記載。

V 令和3年度の森林・林業に関する主な出来事

月 日	主 な 出 来 事
令和3年	
4月26日	第1回今後の里山林整備の進め方に関する検討会
5月12日	富山県水と緑の森づくり会議
5月16日	とやま森の祭典 2021〔魚津市 魚津桃山運動公園〕
〃	とやまの森づくりボランティア交流会〔同上〕
6月 8日	小池木材株式会社からの寄付目録贈呈式
7月～	富山県林業カレッジ スマート林業コース開始
7月 8日	富山県林政協議会
8月 2日	とやまの森づくりサポートセンター運営委員会
10月	富山県森づくりプラン(改訂)
10月 3日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修
10月 8日	農林水産技術会議
10月 9日	ウッディとやま〔富山市 総曲輪グランドプラザ〕
10月14日	富山県森林審議会森づくり部会
10月17日	林道有峰線「小見区間」完成記念式典〔富山市有峰〕
10月23日	とやま木と住まいフェア 2021〔射水市 木材研究所〕
10月28日	第2回今後の里山林整備の進め方に関する検討会
10月30日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修
11月 3日	木育セミナー及びワークショップ〔富山県中央植物園〕
11月15日	富山県木造公共建築物等推進会議
11月29日	富山県県産材利用促進会議
12月12日	第25回とやま県産材住宅設計コンペ表彰式
12月15日	富山県森林審議会(第1回)
12月6～17日	第3回今後の里山林整備の進め方に関する検討会(書面開催)
令和4年	
2月 1日	コカ・コーラ教育・環境財団からの寄附目録贈呈式
2月16日	富山県森林審議会(第2回)
2月17日	林業普及指導職員活動成果発表会
3月	県産材の利用促進に関する基本計画(改定)
3月 1日	とやまの森づくりサポートセンター懇話会
3月 6日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修
3月24日	富山県森林審議会森林保全部会